

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 25 年 1 月 25 日発行

第 32 号

発行人 校長 鈴木史良

“日本人の良さ”と“トルコ人の良さ”

—— 小宮山ハミエットさんをお招きして(家庭教育学級) ——

1月24日(木)に家庭教育学級の閉講式を図書室で行いました。閉講式に先だって国際交流講話があり、裾野市在住の小宮山ハミエットさんに「トルコの暮らしと文化について」という演題で話をしていただきました。小宮山さんは結婚を契機に来日し、もう32年になるそうです。その流暢な日本語からトルコの言語や土地柄、衣食住などについて興味深い話を伺うことができました。

トルコはイスラム国家ですが、1923年、現在のトルコ共和国の礎を築いたケマル・アタテュルクによってイスラム色のうすい国がつけられました。イスラム教徒に欠かせない1日5回の祈りも国民の50%しか行わないこと、女性の社会進出が一般的で、学校も男女別学ではなくて共学であること、アラビア文字を使用せずにアルファベットで自国語を表記していること等、イスラム社会の常識から見れば驚くことばかりです。

もともと中国領のウイグル地域にいた民族が西へ移動して現在のトルコに至ったとのことで、シルクロード沿いの地域では今でもトルコ語が話されているとか、同じウラルアルタイ系の言語である日本語との共通点も多いという話はたいへん興味をもちました。例えば、トルコ語の「イイ」は日本語の「いい」と同じ発音、同じ意味をもっています。「テペ」は日本語の「てっぺん」と同じ。「モールク」は日本語の「もうろく」と同じなど、このような言葉が60ほどあるそうです。

生活面で日本と似ている点は、靴を脱いで家に入ること、室内はじゅうたんを敷き、その上に座ったり寝ころんだりすること、家事は女性で庭仕事や力仕事は男性の役目、核家族や大家族があり、親や年配者を大切にすること。イスラム社会では親が決めた相手と結婚するケースが多いのですが、トルコでは見合いでも恋愛でもOKとのこと、などなどでした。

また、トルコの女性は手先が器用で、スカーフやクッションなど刺繍や飾りを手作りして楽しむことが多いようです。参加された家庭教育学級生の皆さんは、手芸品のすばらしさに見入っていました。



講演する小宮山ハミエットさん



トルコで使われる生活用品の紹介



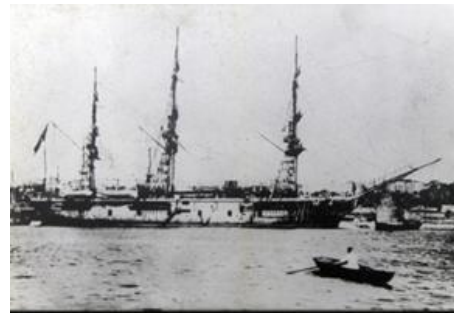
手作りの美しいスカーフ類

知っておきたいトルコと日本との出来事

<エルトゥールル号事件>

1890（明治23）年、明治天皇の親書の答礼として、トルコからオスマン・パシヤ提督率いる総勢650名の使節団が軍艦エルトゥールル号に乗り、はるばる日本の明治天皇を表敬訪問しました。その帰路、和歌山県沖で台風に遭遇し、暗礁に乗り上げて船は大破し、水蒸気爆発を起こして乗組員600名以上が夜の海に投げ出されました。乗組員の一人が灯台までたどり着き、助けを求めました。灯台守はただちに村人に助けを求めに走りました。船が遭難したという知らせを聞いた村の男たちは総出で岩場の海岸に駆けつけました。そして懸命の救助活動をしたのです。救助された人数は69名、500人以上の死者、行方不明者がでる大惨事でした。

村人たちは救助した乗組員たちを村の寺や小学校に収容し、自分たちの食料を提供しました。また海から多くの遺体を引き上げ、丁重に葬ったのです。この後、乗組員たちは日本の軍艦に乗って無事にトルコに帰ることができました。この事件のことを知ったトルコの人々は日本人に対して深い感謝と尊敬の念をいただいたそうです。



オスマントルコ帝国の軍艦エルトゥールル号

<イラン駐在の日本人救出劇>

エルトゥールル号事件から95年後の1985（昭和60）年のこと、中東で勃発したイラン・イラク戦争の最中の出来事です。当時イラクのフセイン大統領が、「今から48時間後に、イラン上空を飛ぶすべての飛行機を撃ち落とす。」と発表しました。イランにいた日本の駐在員やその家族たちはあわててテヘラン空港に向かいましたが、どの飛行機も満席で乗ることができませんでした。空港にいた日本人たちはパニック状態になっていたところ、そこに2機の旅客機が飛来しました。それはトルコ航空の旅客機でした。トルコ航空機は速やかに日本人215名を乗せて成田に向けて飛び立ちました。タイムリミットのわずか1時間15分前の出来事でした。

なぜトルコ航空機が来てくれたのか？ 日本政府もマスコミも知りませんでした。当時の駐日トルコ大使が次のように語っています。

「エルトゥールル号の事故に際し、日本人がなしてくださった献身的な救助活動を、今もトルコの人たちは忘れていません。私も小学生のころ歴史の教科書で学びました。トルコでは子どもたちでさえ、エルトゥールル号のことを知っています。今の日本人が知らないだけです。それでテヘランで困っている日本人を助けようと、トルコ航空機が飛んだのです。」

（『絵物語 エルトゥールル号の遭難』より）



トルコ航空の旅客機

※アルジェリアのイスラム過激派によるテロで犠牲となった方々のご冥福をお祈りいたします。